

上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会（第5回）

議事要録

- 日時 2019年2月13日（水）18時30分～20時00分
- 場所 忠生市民センター 2階ホール
- 出席 委員：田中会長、安達副会長、中丸一男委員、中丸康明委員、彦根委員
- 欠席 0名
  
- 事務局 : 水島環境資源部長、田中循環型施設建設担当部長、  
循環型施設整備課：平本課長、深澤担当課長、古屋担当係長、菊地主任、中島主任  
環境政策課 : 塩澤課長  
資源循環課 : 林課長  
3R推進課 : 高梨課長  
コンサルタント : 株式会社 日建設計
  
- 傍聴者 0名
  
- 配布資料
  - 資料1 第4回連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】
  - 資料2 「上小山田地区資源ごみ処理施設の施設整備コンセプト」
  - 資料3 上小山田地区資源ごみ処理施設の付帯施設検討について（案）
  - 資料4 資源ごみ処理施設の処理フローと施設配置
  - 資料5 今後の進め方（案）・地区連絡会等における今後の協議事項について

## 1. 開会の挨拶

水島環境資源部長より、開会の挨拶を行った。

## 2. 確認事項

### ○ 確認事項1 これまでに頂いたご意見・ご要望について

資料1を用い、事務局から、第4回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・**田中会長** その他の回答で「1つずつ着実に進めていきたいと思っている」とあるが、思っているだけか、それとも今年度に1つでもやったという実績はあるのか。一番簡単なバス停の拡張なども全然進んでいない印象である。頂上の駐停車禁止のバス停において、バスが停車していた時、老人がバスを追い越そうとしたが前が見えず、頂上に差しかかったら対向車が来てしまい、バスに追突したという事故も発生している。バスが停車していても、もう少し見えるようにしていただきたいと何回も何回も要望しているが進んでいない。一番簡単どころでもいいので1つでも直してくれれば、町内会の住民も少しでも対応していただけているという認識を持ち、ビン・カン施設にも協力しようという動きが出てくると思う。

いろいろ要望しても1つも実現していないため、ビン・カン施設の件を受け入れても結局何もやってくれないのではという意見も出始めている。その辺りはいかがか。

- ・**事務局** 会長からお話いただき、事故についてはすぐに道路政策課に伝えて、状況についても確認はしている。収集車が通るという前提でいけば、道路の安全性を必ず確保しなければいけないことは重々承知で、事業化に向けて調整を進めてはいるが、地権者のご協力をいただかなければいけない点もあり、実際に進んでいないことは事実である。

今後もできるところから進め、改めてこの要望の回答について、別の場でご説明をさせていただきたい。

- ・**田中会長** 簡単どころから1カ所でもやっていただければ、1つでも前進しているのだから何とかお願いしますという話もできる。
- ・**中丸(一)委員** VOC等揮発性の物質について、リレーセンターみなみでは検出されているのか、されていないのか。結果を教えてください。
- ・**事務局** リレーセンターみなみで測定しているVOC等の揮発性物質、クロロホルムやトルエン等について検出はされているが、全て基準値は下回っている。
- ・**中丸(一)委員** もう1点、先ほど会長が言われたことと重なるが、上小山田地区のまちづくりとしては、市のほうに要望してもなかなか実施されないと言われているため、まずは対応をお願いします。特にトバ谷戸について、道路が狭い点やU字溝については、簡単にできるのではないかという話も出ている。もう一度、その地区で説明してください。
- ・**安達副会長** 会長がお話したその他の件については、第3回の連絡会でも要望として出ている。1年くらい期間があったのに、それでもまだ何もわかりませんということだが、何が原因でわからないのか。ここまで検討したがこういう結果で結論に対して答えが出ない等の説明はできるのではないか。

地権者が反対しているから地域の人もこれ以上は手を出さないと受けとめている可能性もあ

る。地域の人や町内会の人にもアプローチかけています等、我々が納得できる程度の、現状としてはそれであれば仕方ないだろう、というような回答がなぜ出せないのか。

- ・**事務局** こちらの連絡会は施設の検討とさせていただいており、要望に関しては、年に一度、進捗状況の報告を町内会にご説明している。そこで伺った要望、例えば道路や水路の整備、下水の整備等については、循環型施設整備課が事務局として取りまとめを行っており、それぞれの担当部署から、進められない理由や実施した内容の説明をさせていただいている。

具体的にバスのお話をいただいたが、それは道路の担当で対応しており、測量だけでもできないかと調整はしているという情報は聞いているが、その後どこまで進んでいるかは不明である。場を改めて、進捗状況の説明の際に、町内会に回答ができるようまとめていく。

- ・**安達副会長** 本当に望むところである。ほかに振ったから知らないではなく、担当に伝えお互いに今やっていますという姿勢を見せてほしい。答えが出ないにしろ、担当間で横連携を取り検討している等、言っていただければ納得できると思う。次回またこのような形で開催しても同じような回答となれば、何のために時間を費やしているのかということになってしまう。前回からかなり期間があったため、その期間何をやっていたのかということになってしまう。

- ・**事務局** 事務局として具体的な進捗状況について説明ができず、大変申しわけございません。いただいた要望事業については、各担当に振り分け事業化に向けて調整をお願いしており、事務局としては毎月一度、関連部署の課長職で専門部会を開催し、進捗を把握できるような場を設定しています。1年もあったというのはおっしゃるとおりですが、様々な事情により事業化に至らなかったのが実情である。

今後、本当にできるところから一つずつ答えていけるよう、事務局もきちんと把握した上で、一緒に同席して説明できるよう、進めていきたい。

- ・**田中会長** それでは、担当部署に連携した、担当部署が具体的に動いて測量やった、地権者に何月何日会いにいつてこのようになっている、といったところまで今度の説明会のときには報告いただきたい。

- ・**中丸(康)委員** 2027年に期間を延ばしたという件、要は道路ができないから延ばしてほしいということだと思う。それに関連して579号線その他、農免道路、都道155号線等、仕事は道路部の担当なのに、なぜ本日出席していないのか。本来であれば、2021年度に完成するというスケジュールであった中で、579号線の新しい道路の用地買収に関して地権者の同意が得られないというのが1つの理由ではあるが、それ以外の農免道路のバス停や延伸する都道155号線の整備については全く進展がない。バス停のほうは多少進展があるかと思っただが、やはりない。

都道155号線のバス道路の延伸についても、579号線ができるときには、そこも延伸して都計道3・4・40号線まではつなぐという約束になっているはずである。579号線の最初の事業説明会のときに、大泉寺の前まで延伸すると印がついていたが、その線形についても全く検討していないのではないのか。ほかの路線は全部間に合い、579号が整備できないから早く協議したいということであれば、地権者も協力しないわけにはいかないと思うが、それについて全く道路部は動いていないのではないのか。かつ、昨年の忠生地区の市政懇談会に市長と各担当部長が来て、2027年までには都道155号線について整備を完成させると答えている。しかし、具体的にどのような検討をしたのかと質問をしても、全く前進ある答えはもらっていない。

去年の市政懇談会の何年も前に上小山田町内会長宛てに、道路の整備に関する回答について情報公開請求を出したところ、答えをするに当たり、部内の決裁文書があり、市長がサインしたものが行政資料としてあることを確認した。担当部局が勝手に答えたわけではないのに、地元に対して現状何もやっていない。それで済むというのはおかしい。

- ・ **田中会長** やはり現実味の帯びたものを実際に何でもいいから進めていただかないと。もうすぐ10年たってしまう。
- ・ **中丸（康）委員** 遅れた原因の579号線の測量をやれない事情は、町田市にも責任があると思っている。該当箇所の切土・盛土等、関連する造成について、東京都と協議をする事業だと思うが、市は協議を調べていないのではないか。今の時点で調べていないなら、地権者が反対するからできないというのは全く問題外である。

あの道路を整備するに当たり、東京都の環境保全条例に基づく協議は終わっている、それでもなおかつ地権者が協力してくれないようなら理由になるが、おそらく終わっていない。東京都と協議が調っていないのに協議に応じなくてははいけなくなると、地権者も怒ると思う。うまくいかないのは市の責任である。地権者の責任ではない。その辺りをきちんと踏まえて仕事をしてくれなくては、話し合う余地はない。

- ・ **田中循環型施設建設担当部長** 道路事業に関しては明言を避けたい。ただ、聞いているのは、多摩環からの協議についてはそろそろ下りるのではなかろうかという状況である。
- ・ **田中会長** 実際に東京都に協議依頼は出してあるのか。
- ・ **田中循環型施設建設担当部長** 提出済みである。
- ・ **田中会長** 町田市の協議の内容には不備があり、東京都はその依頼を戻したと聞いている。
- ・ **田中循環型施設建設担当部長** そのような情報はない。
- ・ **田中会長** 測量も行っていないようだが、地権者は測量に入るなら入ってもよいと言っていると聞いた。しかし、その辺りの交渉をきちんと実施しているのかどうかである。
- ・ **中丸（康）委員** 東京都と協議が調ってから、地権者に交渉に行かなくてはならないと思う。
- ・ **安達副会長** 市も町内会をうまく活用すべきである。結局個別で話した際には、協力する方向で示してくれるのに、役所がダイレクトに交渉するとうまくいかないのであれば、町内会も巻き込んで何とかお願いできませんかというような方向性にすれば、もう少しスムーズにまとまるのではないかと思う。
- ・ **田中会長** では、確認事項についてはここまでとする。

### 3. 協議事項

#### ○ 協議事項1 資源ごみ処理施設整備コンセプト（案）の決定について

資料2を用い、事務局から、上小山田地区資源ごみ処理施設の施設整備コンセプト（案）の決定について説明を行った。

（以下、質疑応答）

- ・ **田中会長** 1の（3）の「再生可能エネルギーを採用」は、具体的には何を指していますか。
- ・ **事務局** 太陽光パネルの設置や風力発電と考えているが、今後の検討の中で詰めさせていただく。施設の内部の検討をする際に、その時代に合ったものを採用するように計画をしていきたいと考えている。
- ・ **田中会長** 現在の計画では、施設は2025年や2026年になってしまう。その間に結構変

わったものができる可能性もあるため、このコンセプトは原案として残しておき、そういうものができたときは考慮するというでどうか。科学技術の発展等もあると思うため、本当に施設をつくるときにもう一回考え直してみるという余力を残す意味で、仮決定とするのはいかがか。

- **田中循環型施設建設担当部長** 設計を実際にやる際に最新の技術を取り入れていく形になると思う。再生可能エネルギーに関しては、先ほどは太陽光パネルという例を出したが、今後何か違うものが出てきた場合は、最新の技術を取り入れたい。
- **彦根委員** 「再生エネルギー」という言葉で、これから出てくるエネルギーも含まれているのではないか。
- **田中会長** いや、エネルギーばかりではなくて、ほかの面でも出てきたらどうするのかと心配である。
- **彦根委員** コンセプトであるため、こういう方針でやることとし、新しいものが出たらそれを採用していくという形でいいのではないかと私は思う。
- **中丸（康）委員** 目の前に進む気配がないから、余り現実味を帯びてこない。
- **田中会長** では、今後いろいろなことが変わった場合は、それはあわせて、またそのコンセプトの中に入れ込むという形で、今回は一旦決定とすることよろしいか。
- **中丸（康）委員** 番号は、「1、2、3、4」でいいのではないか。
- **事務局** おっしゃるとおり「1、2、3、4」に修正する。
- **彦根委員** 1. 2「市民が安心して生活できる災害に強い施設」の中で、(1)「地震に強い仕様とする」とあるが、「土砂災害」という言葉を入れたほうがいいのではないかと思う。地震だけではちょっと弱いような気がする。
- **事務局** 現状の計画地はかなりの丘陵地であり、基本はイエローゾーンである。レッドゾーンにならないような計画にはなっているが、大量に雨が降ったときに土砂災害の危険性もあるため、「地震」という限定の書き方を「災害」という大きな括りに修正するのはいかがか。
- **田中会長** 「災害」のほうがいいのではないかと思う。
- **事務局** それでは、「災害に強い施設」と修正する。
- **中丸（康）委員** 道路ができた後、年次的にはどの程度でこの施設をつくる予定になっているのか。道路をつくるのに15m盛土する場合、地盤沈下があるのではないか。現実に埋めてからいつごろやる予定なのか。
- **田中循環型施設建設担当部長** 細かいスケジュールは未定である。ただ、道路の築造とあわせて実施する形になると思う。
- **中丸（康）委員** 2027年までにこの施設を完成させるには、道路は先に整備されていなければ着工できない。
- **田中会長** 道路を整備しながら、施設の造成も行う考えなのか、道路が完全に完成してからその施設の造成を行うのか。27年度で大体の目安がいたらきちんとスケジュールを説明していただきたい。
- **中丸（康）委員** 27年度であれば、いつ測量をやり、用地買収をやり、いつ資源化施設が着工するか等のスケジュールが必要である。きちんと27年の理屈を示してほしい。
- **中丸（一）委員** 「1.2. 市民が安心して生活できる災害に強い施設」の中に「一時避難スペース」と書かれてあるが、リニアができると、そちらへの対応もするようなことを聞いている

るが、その辺りはいかがか。

- ・事務局 資源化施設の周辺住民の一時避難という点にリニアからの避難は想定していない。JRからもそのような話を受けていない。
- ・中丸（一）委員 一切受けないということか。もしもそのような話があった場合にも、市としては受け入れないということか。
- ・事務局 今の時点では考えていない。

## ○ 協議事項2 付帯施設について

資料3を用い、事務局から、付帯施設について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・田中会長 写真については、イメージですね。この3分の1ぐらいか4分の1ぐらいの広さのものが現実的と思う。
- ・事務局 こちらはイメージである。具体的な広さについては今後検討させていただく。
- ・中丸（一）委員 駐車場ですが、小山田は場所が悪いため、もし災害が起き、みんな車で行くとして15台ではとめる場所が足りないため、もう少し台数を増やしていただいたほうがよいと思う。歩いて行くことはまずない。避難するにしてもおそらく車で行くようになると思う。もう少し駐車場があれば利用できると思うので、これだけの敷地があるのであればお願いしたい。
- ・田中会長 田中谷戸地区だけの集会をやっても20台～30台は最低必要であるため、倍ぐらいの駐車スペースをお願いしたい。  
提示されているイメージは広いものになってはいるが、このような種類の施設を整備してもらおうということではよろしいか。設計の段階で具体的に示していただきたい。
- ・中丸（康）委員 会議室や研修室、多目的ホールは、区分して小さく利用できるようにし、大きいときにも対応できるようにする等でよいのではないか。
- ・事務局 施設見学者のスペースや施設見学者の対応する駐車場に加えて、パーテーションで仕切れるような会議室等も検討しレイアウト等の提案をさせていただく。学校等の見学が来るときに地元の方が使う会議室が全くないというのも不便であるため、その辺りも考慮したい。
- ・中丸（一）委員 印刷室はできるのか。要望書の中にも入っていると思うが、その辺りも考慮いただきたい。
- ・事務局 運営に関わる点であるため、これから検討していく。
- ・田中会長 細かい点は、今後話をしていきたい。

## ○ 協議事項3 資源ごみ処理施設の処理フローと施設配置について

資料4を用い、事務局から、資源ごみ処理施設の処理フローと施設配置について説明した。

(以下、質疑応答)

- ・田中会長 これは寒川広域リサイクルセンター等、見学した施設と大体同じと考えてよろしいか。
- ・事務局 はい。

#### ○ 協議事項4 地区連絡会等における今後の協議事項について

資料4を用い、事務局から、今後の協議事項について説明した。

(以下、質疑応答)

- ・ **田中会長** 何も進捗しないのに会議を持って仕方がないという意見もあるが、これから半年、1年の進捗を委員の方々によく説明をしてもらいたいと思う。その辺りを踏まえ、次の連絡会を持っていただきたい。
- ・ **中丸(康)委員** 第7回地区連絡会で発注仕様書というのは早過ぎる。それよりも、施設整備に当たって道路等の整備について説明していただくほうがよい。
- ・ **田中会長** バスが入れるようにできればいいが、道路に出張るようにバスを待つような現状は改善いただきたい。

#### 4. その他

- ・ **彦根委員** 小山田から出ている要望事項がたくさんあると思うが、それを一覧表でまとめてもらい、それはどこの部署に依頼し、今どのような状態かを示していただきたい。
- ・ **事務局** 報告は毎年行っており、4月～5月の総会の前の時期を想定している。
- ・ **田中会長** これは実際に行った等、具体的なものを記載いただきたい。
- ・ **中丸(康)委員** この施設が27年度にできなかったらというのがあったが、具体的にはどのように考えているのか。
- ・ **田中循環型施設建設担当部長** 今いろいろ検討させていただいている。
- ・ **中丸(一)委員** 一極集中云々というけれども、これから人口が減り、ごみの量も減る想定の中、効率を考えればやはり1カ所でやるのが一番理想だとは思う。
- ・ **中丸(康)委員** 本当は代替施設というのではなくて、どこかほかの場所を選定したほうが早いのではないか。今の敷地を待っていたらできないのではないか。
- ・ **中丸(一)委員** 現実的には、どこ行ってもみんなそうになってしまう。
- ・ **彦根委員** 忠生地区連合が高橋副市長のところへ行き話した際には、高橋副市長は場所を変えることを考えていませんとはっきり言っていた。今の地区でやるという話をしていた。
- ・ **田中循環型施設建設担当部長** 今の状況が続けば2027年度の上山田地区の稼働は結構難しいことは事実だが、決して旗をおろしているわけではない。

建設常任委員会での行政報告で最近コメントさせていただいているが、2025年までに既存のビン・カン処理施設の移転をお約束しているため、他の方策についても可能性の調査が必要と考えている。資源ごみの処理に問題がないように、既存計画の遂行と並行して、外部委託や代替地といった違う方策を検討するという言い方をさせていただいている。

- ・ **田中会長** 以上でこの連絡会は終わりとする。

#### 5. 開会の挨拶

田中循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。

(20時00分 閉会)